

KCCS IoT Conference 2019

LINE WORKSが IoTソリューションを加速させる可能性

ワークスモバイルジャパン株式会社
代表取締役社長 石黒 豊

LINE WORKS

NAVER

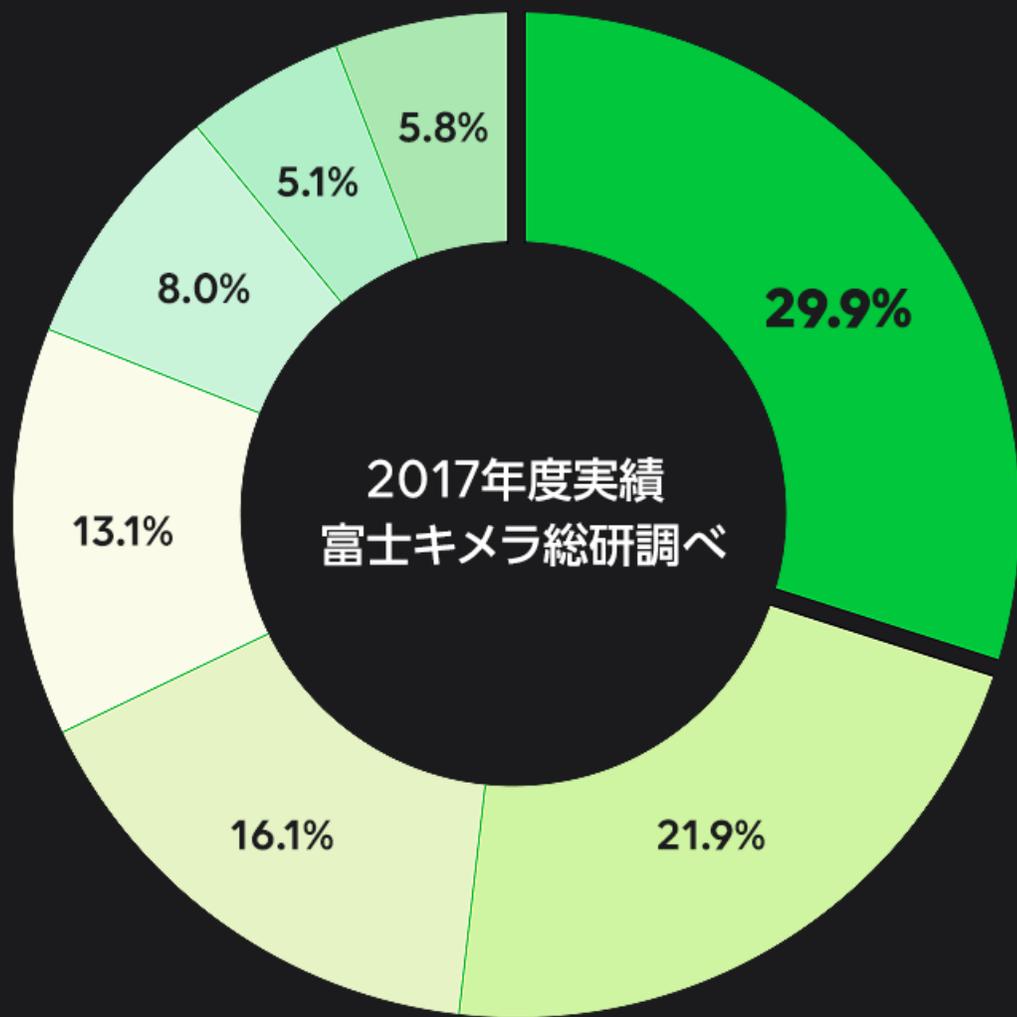
LINE

一般ユーザー向け
モバイルメッセージングプラットフォーム



WORKS MOBILE

ビジネス向けコミュニケーション &
コラボレーションプラットフォーム



LINE WORKS
有料版ビジネスチャット
シェアNo.1

直近1年間で、10,000社以上が導入

※グローバル合算

小売・卸売



サービス



医療・医薬



教育



金融・保険



士業



農業・酪農



飲食・外食



メディア・広告

TRIGGER inc.

NPO・団体

NPO カマリバ

建設・住宅・不動産



製造



運輸



IT・通信



人材



IoT
ソリューション



LINE WORKS

広範囲な技術と知識領域が必要となる



- ・ 設置環境を考慮した設計
- ・ 組み込み開発
- ・ 設置/電気工事の管理
- ・ 保守体制の構築

- ・ カバーエリア、帯域
- ・ 回線コスト
- ・ データ収集・蓄積
- ・ システムの拡張性

- ・ 業務に組み込むための運用設計
- ・ 集計/分析ツール
- ・ 参照や通知する手段

運用

sigfox が【ネットワーク】と【収集】から解放



- ・設置環境を考慮した設計
- ・組み込み開発
- ・設置/電気工事の管理
- ・保守体制の構築

- ・カバーエリア、帯域
- ・回線コスト
- ・データ収集・蓄積
- ・システムの拡張性

- ・業務に組み込むための運用設計
- ・集計/分析ツール
- ・参照や通知する手段

運用

従来の通知ツールの課題

メール

- 一方向の通知のため
- 大量のメールがあり埋もれてしまう。

専用アプリ

- インストール/アカウント作成の障壁がある。
- 端末にインストールされたアプリが多すぎると紛れて使われなくなる。
- 操作が覚えられない

LINE WORKS という選択肢



- 業務で使っているLINE WORKSアプリで通知を受け取れる。
- 普段から使っているため使いやすい。
- 通知以外に、ユーザーの質問に応じて回答結果を返信できる。

LINE WORKS の bot で通知を受ける

← 庫内温度管理システム

23:24 温度確認

庫内温度管理システム
どのエリアを確認しますか？

- Aエリア
- Bエリア
- Cエリア

23:24

23:25 Aエリア

庫内温度管理システム
Aエリアの温度情報です。
温度: 3.2℃
湿度: 12%

23:25

庫内温度管理システム

23:25

メッセージを入力

← 監視グループ(12)

アラート
庫内異常を検知しました。
22:04

アラート
庫内温度が 5℃を超過しています。
トラックNo: J40-80
庫内温度: 5.1
計測時間: 2019-1-20 22:00
22:04

< 既読8 22:09 @石田健一 対応をお願いします。

メッセージを入力

LINE WORKS によって、分析や運用設計に集中できる



- ・ 設置環境を考慮した設計
- ・ 組み込み開発
- ・ 設置/電気工事の管理
- ・ 保守体制の構築

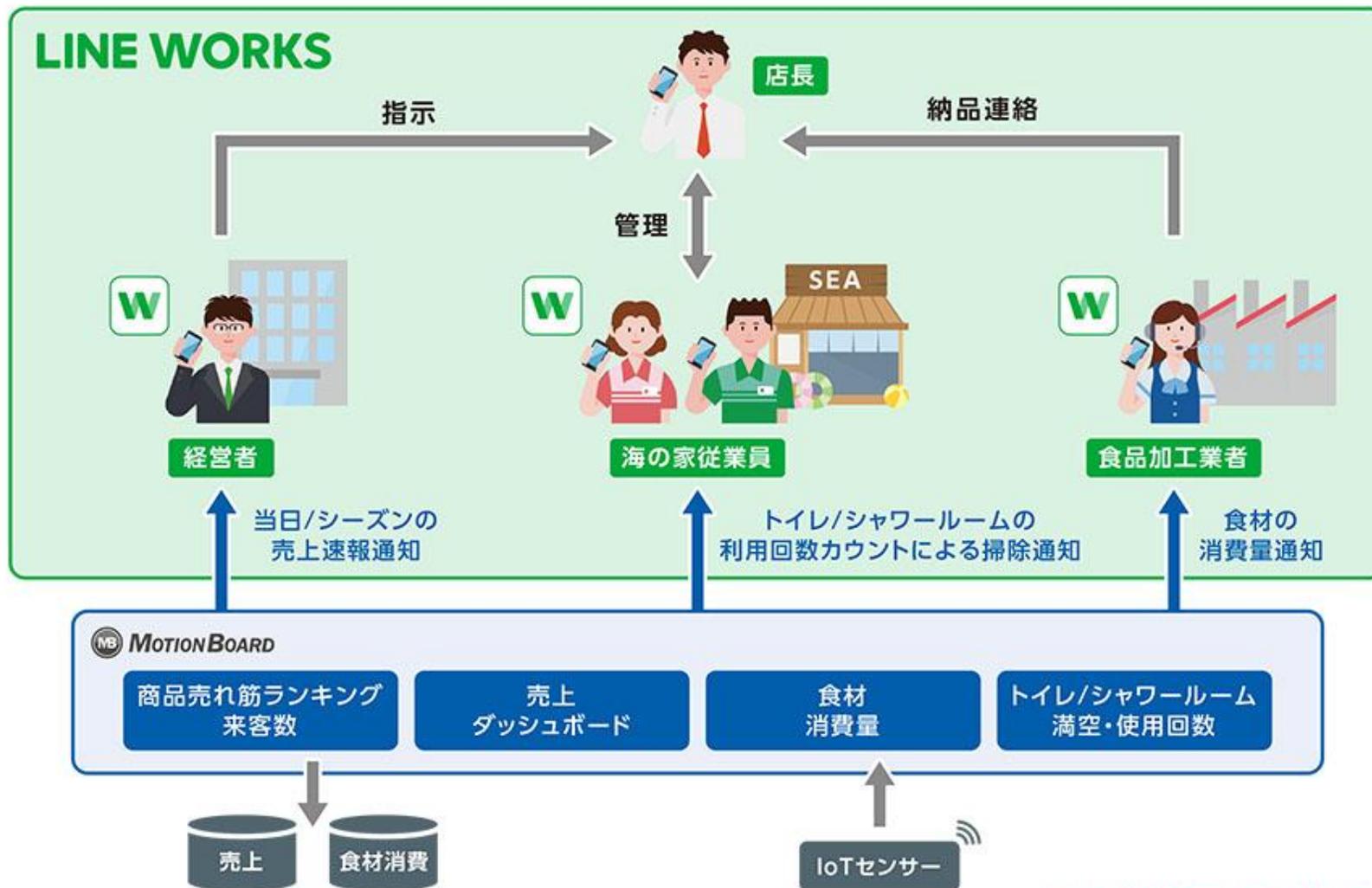
- ・ カバーエリア、帯域
- ・ 回線コスト
- ・ データ収集・蓄積
- ・ システムの拡張性

- ・ 業務に組み込むための運用設計
- ・ 集計/分析ツール
- ・ 参照や通知する手段

運用

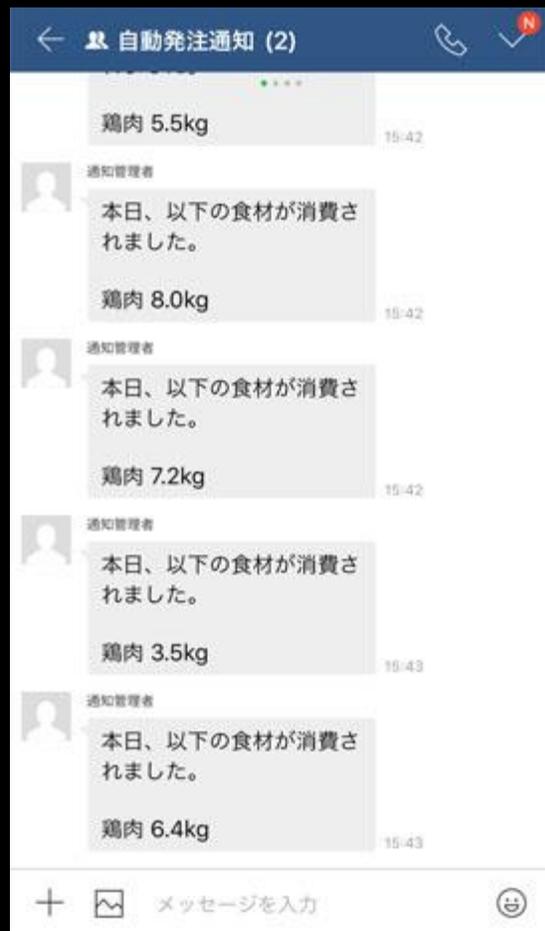
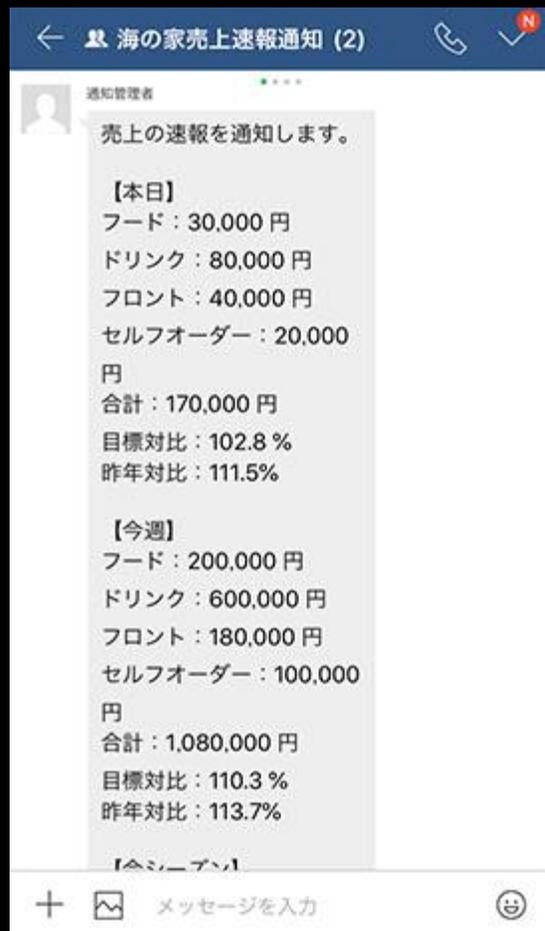
セカンドファクトリー様 店舗運営 IoTソリューション

データの可視化とリアルタイムな通知が店舗運営を効率化



※取材時の構想となるため、実際の運用は変動する可能性があります

セカンドファクトリー様 店舗運営 IoTソリューション



- あらゆる可視化されたデータはリアルタイムに活用されてこそ
- 経営データをすぐに共有、スピーディーな経営判断に
- LINEの操作性そのままなので非ITスタッフも利用



- ・ 給水・餌、集糞・浄化槽、
温度・湿度・CO2をモニタリング
- ・ 検知されたアラートを
トークルームに即座に通知
- ・ その時、手の空いている従業員が
すぐに対応

LINE WORKS で “通知” するメリット

- アプリ開発よりも開発の難易度が低い
- APIを使って実装可能
- アプリ開発に比べてテスト工数が大幅に削減できる
- 開発したBotを一部のユーザーに配布しPoCすることも可能

分析やサービス設計に集中することができる



LINE WORKS で IoT をより効果的に

LINE WORKS